


# 2019年度 山形大学 (前期)

医学部

試験時間：120 分

 全問必答

**1** 3個のさいころ A, B, C を同時に投げる。それぞれのさいころの出る目を  $a, b, c$  で表す。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 3個のさいころの出る目すべてが奇数になる確率を求めよ。
- (2) 出る目の積  $abc$  が偶数または3の倍数になる確率を求めよ。
- (3) 出る目の積  $abc$  が偶数であったとき、出る目の和  $a + b + c$  が奇数になる条件付き確率を求めよ。
- (4) 座標空間上の4点  $(0, 0, 0)$ ,  $(a, 0, 0)$ ,  $(0, b, 0)$ ,  $(0, 0, c)$  を頂点とする三角錐の体積を  $V$  とする。
  - (i)  $V$  が自然数になる確率を求めよ。
  - (ii)  $V$  が自然数かつ  $V > 12$  になる確率を求めよ。

**2** 座標空間において、原点を  $O$  とし、3点 A, B, C を

$$A\left(4, \frac{16}{3}, 0\right), B(-4, 3, 0), C(0, 0, c)$$

とする。ただし、 $c > 0$  とする。 $\triangle OAB$  において、辺 OA, 辺 AB, 辺 BO を 1:2 に内分する点を、それぞれ D, E, F とする。線分 AF と線分 DE との交点を P とし、線分 OE と線分 DF との交点を Q とする。また、線分 CQ の中点を R とし、線分 CP を 1:3 に内分する点を S とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $|\vec{OA}|$ ,  $|\vec{OB}|$ , 内積  $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$  の値を求めよ。
- (2)  $\vec{AF}$ ,  $\vec{OP}$  を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  を用いて表せ。
- (3)  $\vec{OQ}$ ,  $\vec{OR}$ ,  $\vec{OS}$  を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$ ,  $\vec{OC}$  を用いて表せ。
- (4)  $\vec{OS}$  と  $\vec{BC}$  が垂直であるとき、 $c$  の値を求めよ。

**3**  $e$  は自然対数の底とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $a$  を実数とする。定積分  $\int_1^e t^{a-1} dt$  を求めよ。
- (2) 関数  $f(x) = \int_1^e t^{x-1} dt$  について、 $\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x)$  と  $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x)$  を求めよ。ただし、 $e^x > x$  を用いてもよい。
- (3) 関数  $g(x) = (x-1)e^x + 1 - \frac{x^2}{2}$  について、 $g'(x) > 0$  となる  $x$  の範囲をすべて求めよ。また、 $g(x) > 0$  となる  $x$  の範囲をすべて求めよ。
- (4) 曲線  $y = g(x)$  と  $x$  軸および2直線  $x = -1$ ,  $x = 1$  で囲まれた図形の面積を求めよ。
- (5) 関数  $f(x) - \frac{x}{2}$  が極値をもつかを調べ、極値をもたない場合は、その理由を述べよ。極値をもつ場合は、その極値をすべて求めよ。また、そのときの  $x$  の値を求めよ。

**4**  $a$  と  $b$  を互いに異なる正の定数とする。双曲線  $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$  と  $x$  軸との交点を  $A(a, 0)$ ,  $B(-a, 0)$  とする。 $x_1$  を  $|x_1| > a$  を満たす実数とし、双曲線  $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$  と直線  $x = x_1$  との交点を  $P(x_1, y_1)$ ,  $Q(x_1, -y_1)$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 実数  $x_1, y_1$  を用いて、直線  $AP$  と直線  $BQ$  の交点  $R$  の座標を表せ。
- (2) (1) で求めた交点  $R(x, y)$  の軌跡を求めよ。
- (3) 原点  $O$  を極とし、 $x$  軸の正の部分の始線とする極座標を  $(r, \phi)$  とする。(2) で求めた軌跡を極座標  $(r, \phi)$  を用いて表せ。
- (4) (2) で求めた軌跡を表す図形を  $L$  とする。図形  $L$  を、原点を中心にして反時計回りに角度  $\theta$  だけ回転させた図形を  $L(\theta)$  とする。ただし、 $0 < \theta < \pi$  とする。図形  $L$  と図形  $L(\theta)$  の交点の個数を  $n$  とするとき、これら  $n$  個の交点の極座標を、定数  $a, b$  および角度  $\theta$  を用いて表せ。
- (5) (4) で求めた図形  $L$  と図形  $L(\theta)$  の  $n$  個の交点を  $V_1, \dots, V_n$  とし、それらの極座標を  $V_1(r_1, \phi_1), \dots, V_n(r_n, \phi_n)$  とする。ただし、 $r_1, \dots, r_n$  は正の数とし、 $0 \leq \phi_1 < \dots < \phi_n < 2\pi$  とする。角度  $\theta$  を  $0 < \theta < \pi$  の範囲で動かしたとき、 $n$  角形  $V_1 \dots V_n$  の面積の最小値を求めよ。また、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

## 2019年度 山形大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

- (1)  $\frac{1}{8}$  (2)  $\frac{26}{27}$  (3)  $\frac{3}{7}$   
 (4) (i)  $\frac{133}{216}$  (ii)  $\frac{7}{54}$

2

- (1)  $|\vec{OA}| = \frac{20}{3}, |\vec{OB}| = 5, \vec{OA} \cdot \vec{OB} = 0$   
 (2)  $\vec{AF} = -\vec{OA} + \frac{2}{3}\vec{OB}, \vec{OP} = \frac{3}{5}\vec{OA} + \frac{4}{15}\vec{OB}$   
 (3)  $\vec{OQ} = \frac{4}{15}\vec{OA} + \frac{2}{15}\vec{OB}, \vec{OR} = \frac{2}{15}\vec{OA} + \frac{1}{15}\vec{OB} + \frac{1}{2}\vec{OC}, \vec{OS} = \frac{3}{20}\vec{OA} + \frac{1}{15}\vec{OB} + \frac{3}{4}\vec{OC}$   
 (4)  $c = \frac{2\sqrt{5}}{3}$

3

- (1)  $\begin{cases} 1 & (a=0) \\ \frac{e^a-1}{a} & (a \neq 0) \end{cases}$  (2)  $\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = 0, \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$   
 (3)  $g'(x) > 0 \rightarrow x \neq 0, g(x) > 0 \rightarrow x > 0$  (4)  $4 - e - \frac{3}{e}$   
 (5) 極小値: 1 ( $x = 0$ )

4

- (1)  $R\left(\frac{a^2}{x_1}, -\frac{ay_1}{x_1}\right)$   
 (2) 楕円:  $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$  ただし, 点  $A(a, 0), B(-a, 0)$  を除く。  
 (3)  $r = \frac{ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \phi + a^2 \sin^2 \phi}} \quad (0 < \phi < \pi, \pi < \phi < 2\pi)$   
 (4)  $\left(\frac{ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \frac{\theta}{2} + a^2 \sin^2 \frac{\theta}{2}}}, \frac{\theta}{2}\right), \left(\frac{ab}{\sqrt{b^2 \sin^2 \frac{\theta}{2} + a^2 \cos^2 \frac{\theta}{2}}}, \frac{\theta}{2} + \frac{\pi}{2}\right),$   
 $\left(\frac{ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \frac{\theta}{2} + a^2 \sin^2 \frac{\theta}{2}}}, \frac{\theta}{2} + \pi\right), \left(\frac{ab}{\sqrt{b^2 \sin^2 \frac{\theta}{2} + a^2 \cos^2 \frac{\theta}{2}}}, \frac{\theta}{2} + \frac{3}{2}\pi\right)$   
 (5) 最小値:  $\frac{4a^2b^2}{a^2 + b^2} \quad \left(\theta = \frac{\pi}{2}\right)$